

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 東北大学	
	取得方法	課程 昭和 57 年取得	
◆ 学 歴	大 学	東北大学文学部哲学科社会学専攻 昭和 54 年卒業	
	大 学 院	東北大学大学院文学研究科博士後期課程社会学専攻 単位修得後退学	
◆ 学 内 職 務 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ エクステンションセンター長 ▪ 		
◆ 担当授業科目 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 社会学理論 I・II ▪ 社会学研究演習 I～IV ▪ 現代社会論 ▪ 社会意識論 		
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
▪			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
社会学理論	現代社会論	<ul style="list-style-type: none"> ▪ M. ヴェーバー ▪ エートス 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 市民社会 ▪ 後発資本主義国
◆ 研究概要	M. ヴェーバーの社会理論に基づく後発資本主義国における市民社会形成の問題の検討。とくに現代の西欧および日本における「社会」のあり方について、その相違と共通性から考察を行っている。		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本社会学会 ▪ 日本社会学史学会 ▪ 社会文化学会 ▪ 東北社会学研究会 		
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 見える現代: 社会学の眼	共	平成 3 年 4 月 30 日	アカデミア出版会
▪ 人間再生の社会学理論	共	平成 8 年 4 月 10 日	創風社
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> ▪ M・ヴェーバーにおける学問と政治——「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の『精神』」の執筆意図の解明にむけて 	単	平成 16 年 7 月 10 日	『社会学研究』第 75 号、東北社会学研究会
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「格差社会」のリスクとは何か 	単	平成 20 年 3 月 30 日	『社会文化研究』第 10 号、社会文化学会
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「社会文化」概念の構築に向けて 	単	平成 23 年 1 月 10 日	『社会文化研究』第 13 号、社会文化学会
◆ その他 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 市民社会とエゴイズム	単	平成 16 年 11 月 26 日	社会文化学会全国大会報告
▪ 「格差社会」のリスクとは何か	単	平成 18 年 12 月 8 日	社会文化学会全国大会報告
▪ 「社会文化」概念とその方向性	単	平成 22 年 12 月 12 日	社会文化学会全国大会報告
▪			